

## 21年度「学校評価アンケート」報告

開明中学校・高等学校  
学校評価検討委員会

### (1) 21年度実施の「学校評価アンケート」について

本校は今年度、中学共学10年目、高校共学7年目を迎えます。この間「新鮮で活気あふれる共学の進学校」を目指して様々な学校改革に取り組んできました。また、学校としては毎年その年度の教育活動を総括し、次年度に向けての課題を探ってきました。20年度からはそれらの取組みについて、生徒、保護者からも「学校評価アンケート」という形で評価を受け、教育活動の点検と、改善に生かしていきたいと、ご協力をお願いしているところです。

ご協力頂いた「中学、高校別の生徒・保護者アンケート」の結果及び「教職員による自己評価アンケート」の結果につきましては別表の通りです。このアンケートの結果につきましては、5月8日のPTA総会でも報告しております。

### (2) 「アンケート」の結果について

評価項目については、次の4段階〔A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない〕で回答をお願いしました。評価レベルとしてはABを肯定評価、CDを否定評価として各項目を見ていく中で課題の整理をしました。高い評価を得た項目も多いのですが、改善が求められる課題もそれぞれ明らかになっています。また、21年度で2回目となる取組みですので、前年度との比較で変化の出ている項目についても整理をしました。いくつかの課題については学校の見解も示しておりますのでご確認ください。

### 「生徒・保護者アンケート」について

1) 20年度と比較して、21年度は、ABの肯定評価が80%以上あった項目が下記の通り全体としては増えています。

#### 【肯定評価が80%以上の項目数】

	20年度		21年度	
①中学生徒	13項目	⇒	20項目	(34項目中)
②高校生徒	6項目	⇒	8項目	(35項目中)
③中学保護者	21項目	⇒	21項目	(28項目中)
④高校保護者	13項目	⇒	19項目	(27項目中)

2) 20年度と比較して、21年度に5%以上改善した項目は下記の通りです。

**【中学生徒で5%以上改善した項目(%の高い順に)】**

- ① H・Rの時間などで将来の進路や生き方について考える機会がある。  
(59.4%⇒75.7% +16.3%)
- ② この学校は、遅刻する生徒が少ない。  
(61.7%⇒72.8% +11.1%)
- ③ この学校の生徒会活動は盛んである。  
(66.0%⇒73.5% +7.5%)
- ④ この学校の生徒は校則を守っている。  
(56.0%⇒63.0% +7.0%)
- ⑤ この学校の先生は、生徒の悩みや相談を聞いて丁寧に対応してくれる。  
(74.7%⇒80.9% +6.2%)
- ⑥ この学校は、健康管理について適切な指導と情報の提供があり生徒が健全な学校生活を送れるように努めている。  
(82.2%⇒87.3% +5.1%)

①「将来の進路や生き方について考える機会がある」の項目が改善したことについては、中学でのカリキュラムの改訂とその定着が大きく影響しています。21年度からは、「総合的学習の時間」「道徳」の時間とは別に、「特別活動(学級活動)」の時間を1時間設定し、H・R活動を充実させることにしました。「道徳」の時間も生き方や生活の仕方考える時間として、これまで以上に充実したものにすべく取組みを強めています。生徒もそれをしっかり受けとめて学んでいる様子が分かります。

**【高校生徒で5%以上改善した項目(%の高い順に)】**

- ① この学校は遅刻する生徒が少ない。  
(31.9%⇒48.7% +16.8%)
- ② この学校は避難訓練などもし、非常時の行動について分かりやすく生徒に知らせている。  
(50.1%⇒57.6% +7.5%)
- ③ 私は、学校から保護者へのプリントは必ず渡している。  
(64.2%⇒71.5% +7.3%)
- ④ 私は、宿題や課題があればきちんと取り組んでいる。  
(74.9%⇒81.7% +6.8%)
- ⑤ 私は、進学について目標を持って毎日の学習に取り組んでいる。  
(70.2%⇒76.1% +5.9%)
- ⑥ この学校の生徒は、校則を守っている。  
(60.2%⇒65.5% +5.3%)
- ⑦ この学校の生活指導について、先生方の指導は適切である。

(61.0%⇒66.3% +5.3%)

- ⑧この学校では、学習や進路についての面談や指導が適切に行われている。

(79.1%⇒84.1% +5.0%)

- ①「遅刻が少ない」の項目については、改善されているとはいえまだまだ今後の改善が求められるところであります。22年度には肯定評価がさらに大きく伸びるように取組みを強めていきます。

**【中学保護者で5%以上改善した項目(%の高い順に)】**

- ①この学校は地震や台風など非常時の緊急連絡体制を保護者に知らせている。

(84.6%⇒90.3% +5.7%)

- ②子どもはこの学校の授業は分かりやすいと言っている。

(77.6%⇒82.7% +5.1%)

**【高校保護者で5%以上改善した項目(%の高い順に)】**

- ①この学校は、地震や台風など非常時の緊急連絡体制を保護者に知らせている。

(74.6%⇒89.1% +14.5%)

- ②子どもは、この学校に入って以来、家庭学習の時間が増えている。

(63.9%⇒75.1% +11.2%)

- ③この学校は、子どもの様子について家庭への連絡などをきめ細かく行っている。

(70.9%⇒82.1% +11.2%)

- ④この学校の生活指導の方針は適切であり、効果をあげている。

(74.8%⇒83.7% +8.9%)

- ⑤この学校は、シラバスの公開など学習の指導方針を適切に保護者に伝えている。

(73.0%⇒81.6% +8.6%)

- ⑥この学校は、健康管理について適切な指導と情報の提供があり、生徒が健全な学校生活を送れるように努めている。

(81.8%⇒88.9% +7.1%)

- ⑦この学校には、子どもの心身の健康について相談できる体制がある。

(69.6%⇒75.2% +5.6%)

①の項目「緊急連絡体制を保護者に知らせている」については、21年度に非常時の緊急連絡体制として、「FairCast-子ども安全連絡網」のシステムを導入したこともあり、中学、高校共に大きく改善しています。

3) 高い肯定評価を得た項目については、その評価を落すことなく更に取組みを強めていきます。

**【中学・高校の生徒に90%以上の高い肯定評価を得た項目】**

- ①この学校では、宿題や課題がよく出される。  
(中学97.1% 高校92.8%)
- ②この学校の先生は、教科の質問にきちんと対応してくれる。  
(中学90.2% 高校91.3%)
- ③この学校の先生は、私語や居眠りなどはよく注意する。  
(中学90.8%)
- ④この学校は内容の分かりやすい授業が多い。  
(中学90.4%)

**【中学・高校の保護者に90%以上の高い肯定評価を得た項目】**

- ①この学校では、宿題や課題がよく出される。  
(中学98.2% 高校95.9%)
- ②この学校は、保護者に教育方針を分かりやすく伝えている。  
(中学95.1% 高校94.3%)
- ③この学校の行事の数は適切である。  
(中学94.5%)
- ④この学校の学級懇談会の回数は適切である。  
(中学94.1% 高校94.0%)
- ⑤学校行事は、子どもたちが楽しく参加できるように行われている。  
(中学92.1%)
- ⑥この学校は、生活指導の方針をよく保護者に伝えている。  
(中学90.7%)
- ⑦この学校は、生徒の学習や進路に関する情報を適切に保護者に伝えている。  
(高校90.4%)

学習指導に対する評価は高く、よく面倒を見てもらえると感じている生徒は中学、高校共に多い。行事の取組みも、特に中学の保護者からは高い評価を得ています。子どもたちが学習、行事などを通じて楽しく学校生活を送っている様子が分かります。

「保護者として、子どもをこの学校に通わせて満足している」に対する肯定評価は21年度、中学で89.7%、高校で89.2%でした。

(20年度は中学で91.4%、高校で86.5%でした。)

- 4) 肯定評価が60%以下の項目については、その項目に対する基本的な考え方と改善策等を示しておきます。

#### 【生活指導】

高校生徒 [この学校は、遅刻する生徒が少ない] ⇒21年度は全体としてかなり改善もしてきましたが、まだ生徒の肯定評価は50%を切っています。22年度は更に大きく改善するよう、ご家庭の協力も得て指導を強めていきます。

#### 【特別活動】

◇高校生徒 [この学校の生徒会活動は盛んである] ⇒今年も5月12日に、22年度の生徒会執行部が選出され紹介が行われました。執行部は高校2年生までで構成されます。この生徒会は例年、文化祭を大変なエネルギーで準備万端、取り仕切っています。他にも他校との交流や募金活動、あいさつ運動などその年度ごとに活動を提起し頑張っています。ボランティア精神なくしてはできない活動でもあります。基本的には「生徒会頑張っている」と言えるのではないのでしょうか。

◇中学・高校生徒、保護者 [この学校のクラブ活動は盛んである]

[この学校のクラブ活動の日数は適切である] ⇒現在、本校のクラブ活動は、平成17年に共学化の進行に合わせて議論を重ね確定した「クラブ活動基準」に基づいて行われています。それはクラブに所属している生徒が、勉強とクラブ活動を無理なく両立できるようにという趣旨で学校として活動の基準を決め、生徒の学習環境を保証しようというものです。

#### 【クラブ活動基準】

1. 1週間の練習日は原則3日以内とする。
2. 練習時間は平日・中学は6時まで、高校は7時まで。土曜日は中学は4時まで、高校は6時までとし、それぞれ30分以内に速やかに下校する。
3. 日曜・祝日のクラブ活動は、公式戦前に限り、原則月1回半日を上限とする。
4. 宿泊を伴う活動（合宿）は、夏期休暇中のみとする。
5. クラブ活動期間は高校2年次の公式戦までとする。

これは、高校3年の一年間は実質クラブを引退し勉強に専念しようというものです。内進生は中1から高2までの5

年間、高校編入生は高1からの2年間クラブ活動もしての学校生活を送ることができます。

中学・高校の部員数実績 (10月1日現在の部員数)

		19年度	20年度	21年度
中学	運動部	270	313	322
	文化部	98	150	182
	小計	368 (56.4%)	463 (66.4%)	504 (68.6%)
高校	運動部	260	185	175
	文化部	67	86	103
	小計	327 (64.1%)	271 (47.9%)	278 (49.1%)
中高	合計	695 (59.8%)	734 (58.1%)	782 (60.1%)

本校では、基本的に学習優先の中でクラブ活動をしてもらっています。それが結果としてクラブの入部者も確保し、クラブ活動も盛んにする方策だと考えています。多くの生徒がこの基準を受け入れ、勉強とクラブの両立で頑張っています。クラブ活動が盛んであるかどうかを見る指標は様々あると思いますが、本校は「勉強もクラブもしっかりやりたい」という生徒のために条件と環境を整えています。この点よろしくご理解を頂きたいと思います。

【施設・設備】

◇高校生徒 [この学校は避難訓練などもし、非常時の行動についてわかりやすく生徒に知らせている] ⇒例年、6月に避難訓練を行っています。今年は6月16日を予定しています。この時の連絡、指導を徹底していきます。

◇中学・高校保護者 [この学校の施設設備は学習環境の面でほぼ満足できる] ⇒学校の施設・設備に関しては、全面改築の中で解決できるレベルのことも多くあると思いますが、当面改善できることにつきましては、ご意見もお聞きする中で解決していきたいと思います。

【あなた自身の振り返り】

◇中学・高校生徒 [私は予習や復習をして授業を受けている] ⇒「宿題や課題があればきちんと取り組んでいる」が中学で86.6%、高校で81.7%と高い肯定評価になっています。各教科から出される課題は基本的に予習・復習と矛盾するものではありません。この結果は、更に自分で考えて学習を迫及しているかどうかの問題意識と見るべきで

しょう。学年が上がるにつれて肯定評価は高くなります。

◇ 中学・高校生徒 [私は、学校の図書館や自習室をよく利用している]

⇒ 図書館・自習室の1日平均利用者数は下記の通りです。

	19年度	20年度	21年度
図書館	81.5	85.2	81.4
自習室	62.0	48.1	60.9

中学生は学年が上がるにつれて利用者数が減り、高校生は学年が上がるにつれて利用者数が増える傾向は21年度も変わりませんでした。自習室の利用は中学生が6時まで、高校生は7時までです。

【教職員による自己評価アンケート】について

肯定評価が60%以下の項目について、基本的な考え方及びその改善策等について示しておきます。生徒・保護者アンケートと項目内容が重なるものについては、コメントの一部を省かせて頂きます。

【進路指導】

◇ [生徒が将来の職業についても興味、関心が持てるように、学年に応じたキャリア教育を行っている] ⇒ 学年に応じた「キャリア教育」は、生徒に生き方や将来の目標を考えさせるいい機会となります。また、中学生に、その年齢に応じて職業のことを考えさせたり、高校生に自分が選択する学部がどんな職業につながるのかを考えさせる「キャリア教育」は、進路指導とも深く関わっています。一昨年公表された「高等学校学習指導要領改定案」のなかにも「キャリア教育を推進すること」（総則については2010年度から先行実施）と明記されました。22年度はその実践について更に研究し適切な指導を行っていきます。

【特別教育】

◇ [部活動の役割を重視し、より多くの生徒が参加できるように態勢を整えている] ⇒ 本校はクラブ活動もできる進学校としてその態勢を整えています。それは「クラブ活動基準」（生徒・保護者アンケートの集計報告に記載）にも示していますが、国公立大学への進学希望者が多い中、生徒の様子を見て学内で検討し決めたものです。その内容はクラブ活動にも参加して豊かな学校生活を送りたい、あるいは、そのような学校生活を送らせたいと望む生徒、保護者の声にも応えるものでした。その結果、現在、中学1年生から高校2年生までのほぼ60%の生徒がクラブ活動に参加しています。この現状と学校方針に対する認識を、教職員が

しっかり持って指導に当たることが大事だと思っています。

### 【教職員研修】

◇〔教員間で授業見学をしたり、必要な教育課題で校内研修を実施し、教職員の教育力向上に努めている〕⇒進学実績を含め学校教育活動のグレードアップをはかるためには教職員研修は欠かせません。

今年の研修予定は下記の通りです。

1. 全員研修会（教育課題で研修会を実施、年2回を予定）
2. 教科研修会（難関大入試問題検討・シラバス検討・授業研究）
3. 主任・センター研修会（各学年・部署の教育課題について方針検討・活動の点検と総括）
4. 新任研修会（新規採用教職員の研修会）
5. 学外研修会（様々な教育課題での学外研修、教科・受験指導での学外研修の奨励）

個々の教員がお互いに切磋琢磨し、教育力・授業力を高め、生徒・保護者の期待に応え、学校の課題達成を果たせるように、例年以上に研修活動を強化します。

### 【施設設備】

◇〔生徒に清掃、校内美化に取り組ませ、施設設備を大切にすることを養う〕⇒校内美化を心がけ、施設設備を大切にすることを養うことは生徒指導の基本となるものです。また、学習環境に気をつけて生活出来ることと学力は密接に結びついています。これらのことは生活のマナーとしても大事なことです。学校では定期考査や学期の最終日に大掃除を行ったり、この4月からは学校周辺の清掃を各クラス交代で行うなどの取組みもしています。更に取組みを強めていきます。

### 【まとめ】

学校評価はその結果に基づいて、教育活動と学校運営を改善し、教育水準の向上を図るために行うものです。教師は授業の改善に取り組んでいるか、教科指導で生徒の質問には丁寧に応えているか、生徒指導では適切な対応をしているか、また、生徒は安心して充実した学校生活を送っているか、保護者には教育方針や教育目標が伝えられているか、また、子どもを通わせて良かったと思っていच्छるかなど、学校としては常に点検し、評価も受けていきたいと考えています。

21年度実施した「生徒・保護者のアンケート」及び「教職員による自己評価アンケート」では多くの項目で高い評価を受けましたが、学校としての課題も浮かび上がってきました。それらの課題に取り組む中で、更に教育活動と学校運営の改善を図っていききたいと考えています。今後ともこの学校評価の取組みは続けて参りますので、各位のご協力をよろしくお願い



い致します。

以上